市町村の今夏の節電・省エネルギーの取組結果概要

温暖化対策課

１．節電対策に関する組織・体制等の整備について

○17 市町村で節電対策本部等の新たな組織が設置された。

○その他の市町村においても、省エネ対策等の従前の体制を活かした取組みを推進。

２．目標の設定状況と削減結果について

（１）節電・省エネ目標の設定

○節電・省エネに関する数値目標については、地域における目標を設定した市町村が２市、庁舎における目標を設定した市町村が 22 市町村であった。

○庁舎における目標については､電力使用量を前年比で 15～20％削減する高い目標を設定する市町村もあった。

（２）市町村域における電力使用実績

○多くの市町村域において、期間中の電力使用量は、前年比で削減が図られている。

（３）庁舎の電力使用実績

○不要な照明の消灯の徹底、エアコンの温度設定の調整、ＯＡ機器や自動販売機の節電、ランチシフトの実施やノー残業デーの徹底などにより、期間中の電気使用量の平均削減率は、8～20％程度であった。

３．期間中の主な取組について

○各地域において、創意工夫により、住民や事業者と連携した取組みが推進された。以下、主な取組例。

- 議会本会議の早朝開催〔長野市〕
- 太陽光発電設備の設置〔飯山市〕
- ランチシフトの実施〔長野市、上田市、岡谷市　など〕
- 震災復興Ｔシャツの着用によるスーパークールビズの実施〔佐久市〕
- 省エネ機器の無料貸し出し〔塩尻市〕
- 住宅用ＬＥＤ照明、ペレットストーブの購入補助の実施〔下諏訪町〕
- 環境大使による環境学習・環境講演会の実施〔松川町〕
- 「かんきょう家計簿」作成の推進〔軽井沢町〕
- 学校児童会における節電の呼びかけと見回りの実施、環境学習の推進
- 小中学校教室への扇風機の設置〔小布施町〕　・・・等

４．成果と課題について

（１）成果

○省エネ・節電機器の貸出し実施、学習会やセミナーの開催により、環境に対する意の変化や節電意識が高まった。

○緑のカーテン用種苗の配布希望が多く寄せられ、また、配布を行った市町村においては大変好評であった。。

○省エネ、節電対策を通じた行政経費の削減が図られた。

（２）課題等

○庁舎の照明の一部消灯やエレベーターの停止に関して、一部の住民から苦情が寄せられた。また、高齢者世帯での節電影響を懸念する声も寄せられた。

○抜本的な節電対策を行いたかったが経費面での制約があった。　・・・等